

希望、愛、喜び

学習障害の英国人画家
マッケンジー・ソープ氏が作品展

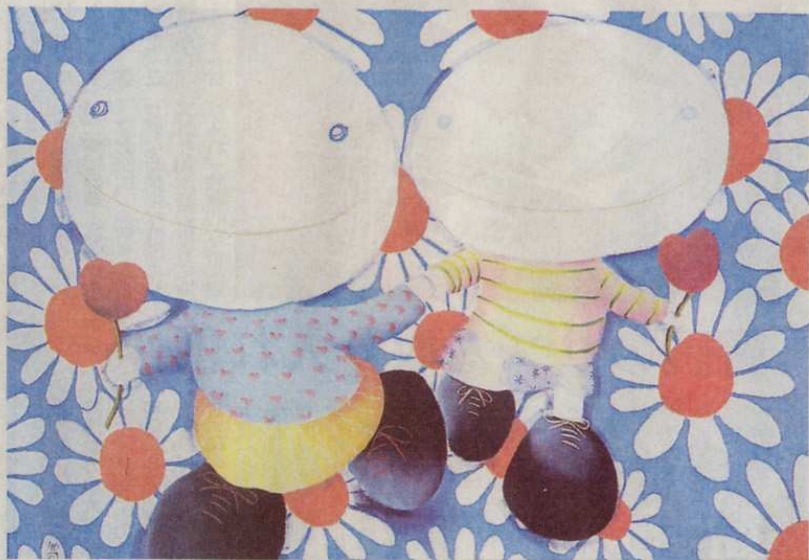
発達障害の一つで、知的遅れはないが読み書きが困難な学習障害「難読症」(ディスレキシア)のある英国人画家マッケンジー・ソープ氏の作品展が六月三日から福岡市中央区の福岡県立美術館で開かれる。実行委主催(西日本新聞など後援)。八日まで。七日にはソープ氏が来場する。



福岡県立美術館で来月



「ひとりだけじゃない」



「イノセント」



「アーッ!」



「冬の中で守られて」

独特の画風、世界にメッセージ

ソープ氏は一九五六
年、英国ノースヨークシ
アの労働者階級の家
庭に生まれた。幼いころ
から絵を描くのが好きだ
ったが、ディスレキシア
のため簡単な単語さえ書
けず、先生には「怠け者
だ」と言われてきた。希
望「愛」「喜び」など
のメッセージを独特の愛
らしい図柄や色彩で表
した作品や、一転して自
身の苦難の歴史を物語る
ような作品を次々と生み
出し、世界中で多くのフ
ァンを獲得した。二〇〇
年には英国の美術業者千
七百社でつくる団体から
「ベストセラァーティ
スト」に選ばれた。

励ます活動をしている。また、発達障害やエイズ、貧困などさまざまな困難を抱えた子どもたちのための慈善活動に積極的にかかわっている。

頭が悪い」としかられ、友だちにもいじめられた。十五歳で学校を中退、障害のため何の資格も取れず、造船所の作業員など職を転々とした。二十歳のとき、友人の勧めで美術学校へ入学し、自らの体験を語りかけて

ソープ氏は現在、世界各国を訪れて障害児らに自らの体験を語りかけて

学生以上五百円(同四百円)、同小学生三百円(同二百円)。福岡市の発達障害者作業所メンバーの美術作品も併せて展示する。問い合わせはアベル高取(092-883-15272、作品展のサイト <http://kaigaten.coco-log-nifty.com/blog/>)。

【福岡】マッケンジー・ソープ展 6月3～8日、福岡県立美術館。読み書きが困難なディ

スレキシアという学習障害を持つ画家によるパステル画や版画など約70点を紹介。一般800円。

7日午後2時からはサイン会も。問い合わせは、アベル高取(092・831・5272)へ。